



やこう

学校だより 令和6年度4月号

令和6年4月8日
横浜市立矢向小学校

ホームページはこちらからどうぞ→

www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/yako/



「匂うさくらの校章ゆかし」

校長 沼田 留美子

赤門と校長池の桜がようやく開花しました。今年は、開花までとても時間がかかりました。今年の冬は暖冬だから、早く開花するのかなと思っていましたが、3月に入り急に寒くなる日もあり、なかなかつぼみが膨らみませんでした。3月末の初夏を思わせる気温に後押しされ、赤門、校長池の桜の木にも花が咲きました。桜を校章にしている矢向小にとって、桜は人一倍、思い入れのある花です。校歌にもある「匂うさくらの校章ゆかし」を目や心で感じる4月です。

さくらの開花には「400℃の法則」というのがあるそうです。開花の準備は、前の年の夏には完了していて、秋から冬にかけては休眠状態に入って冬を越すそうです。ここで大事なのは低温にさらされることだそうです。「休眠打破」といって、寒さで目を覚まします。そして、この休眠打破の日を起算日にして、そこから平均気温を日々足していき、400℃を超えるころに開花するのだそうです。夏には準備を終えて、冬のとても寒い時に目を覚まして開花に向かう桜。寒さはつらいことばかりではないのだなあとも勇気をもらえるような気がします。

さて、令和6年度がスタートしました。学校目標の「わたしが、みんながかがやく 矢向の森」の言葉のように、子どもが様々な場所で花を開けるよう、大人も子どもとともに「本音、本気、本物」の学びを目指してまいります。このことが矢向小で育てる資質能力、「主体的に行動する力」をつけることにつながります。

- ・学ぶ楽しさを知り、自分の考えを深める子を育てます。
- ・自分が好き、友達も大好きな、あたたかい子を育てます。
- ・心と体の健康を守り、自他の生命を大切にすることを育てます。
- ・まちや人やものを大切に、共に生きる子を育てます。
- ・様々な人と自分から進んでコミュニケーションをとれる子を育てます。

子どもには学校が楽しみ、明日も楽しみ、そんな矢向小学校を全教職員で目指しています。このことは、学校だけでは成しえることができません。子どもを取り巻く大人たちのあたたかい支援や声かけが欠かせません。教職員も、保護者も、地域の皆様も、また学習の中でかかわる皆様も矢向小学校に通う子どもの幸せを願う気持ちは一緒です。時には考え方が違うこともあるかもしれませんが。そのような時でも、お互いの考えを尊重しながら、大人としての視野と視点で、子どもにとって、一番幸せな方法を一緒に考えていける、そのような関係を築いていきたいと考えています。さあ、令和6年度の船出です。一緒にオールを漕いで、素敵な思い出を作りながら3月のゴールに向かって進んでいきましょう。